

陸前高田発

希望の一本松



高田松原の「奇跡の一本松」を10分の1のサイズに仕立てたレプリカ、題して「希望の一本松」が陸前高田市に寄贈されました。高さ2.6m

のレプリカは、国内の自動車メーカー14社で構成する「日本自動車工業会」が自動車用鋼板で制作したもので、被災した自動車の部品の一部も使用されています。この「希望の一本松」は来年3月完成する陸前高田コミュニティホールに設置の予定ですが、それまでは花巻空港に展示されることになっています。(3/27 ニュースエコー)

大船渡発

よみがえる大船渡

震災で失われたふるさとの風景を絵画に仕立て、心の復興を図ろうと、大船渡市でフォーラム「よみがえる大船渡」が開かれました。このフォーラムは東京藝術大学が開いたもので、パネルディスカッションの後、親子30人ほどが参加して『絵画のワークショップ』が行われ、被災前の大船渡の自然やまつりなどモノクロの情景写真のキャンバスに思い思いにパステルで色づけして行きました。参加者は被災前の大船渡を思い出し、復興後の新しい大船渡へ思いをはせていました。(3/28 ニュースエコー)



岩泉発

災害公営住宅・完成



津波で大きな被害を受けた岩泉町小本地区に町内では2か所目となる災害公営住宅が完成しました。入居者など70人が出席した完成

セレモニーでは入居者の代表にカギのレプリカが渡されました。小本地区の災害公営住宅は町が整備したもので2LDK~3LDKの5棟、合わせて36戸。三鉄小本駅のすぐ近くにあり、駅を中心とした小本地区・復興まちづくりの柱の一つになっています。(3/28 ニュースエコー)

宮古発

「仮設焼却炉」稼働終了

東日本大震災により県内で発生した災害廃棄物の処理で、宮古市の小山田地区に設置された仮設焼却炉が運転を終えました。この焼却炉は震災翌年の2012年3月に稼働し、この2年間で可燃物5.5万トンの焼却処理を行ってきました。仮設焼却施設は、施設内に残った燃え殻などを取り除き、4月から解体作業が始まります。(3/28 ニュースエコー)



釜石発

三鉄南リアス線で避難訓練



4月5日に全線での運転再開を迎える三陸鉄道南リアス線で、新たに導入されたレトロ車両の津波避難訓練が行われました。訓練は岩

手県沖を震源に震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令されたという想定で行われました。無線で地震発生連絡を受けた列車は緊急停車し、運転士は非常用のはしごで試乗中の乗客14人を車両の外に誘導しました。乗客は近くの高台に歩いて移動し、運転停止から20分ほどで無事、避難を完了しました。(4/2 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが、「春」を感じるあれこれについて伝えてくれました。まずは、県内で最も早く行われた大船渡市三陸町綾里小学校の入学式の話です。新入生たちは毎年袴姿で出席しますが、その様子に地元の方たちは春を感じるという事です。また、市内の大船渡保育園では3月26日に桜が開花したそうです。そしてもう一つ、4月5日に三陸鉄道南リアス線が全線開通しますが、当日はFMねまらいんの開局1周年でもあり、初の公開生放送を市内のショッピングセンターサンリアで行うという事です。(4/2)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122